

# 平和の礎

シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦／Ⅳ



# 平和の礎

シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦 IV

## 平和の礎

### シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦 IV

平成6年3月30日 印刷

平成6年3月30日 発行

編集 東京都文京区大塚5丁目3番13号  
発行 平和祈念事業特別基金

印刷 新日本法規出版株式会社

## ま え が き

平和祈念事業特別基金は、今次大戦における尊い戦争犠牲を銘記し、かつ永遠の平和を祈念するため、関係者の労苦について国民の理解を深めること等により、関係者に対し慰藉<sup>し。</sup>の念を示す事業を行うことを目的として「平和祈念事業特別基金等に関する法律」に基づいて設立された。

基金法には、この目的を達成するために行うべき各種の業務が定められているが、この「平和の礎——シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦——」の作成は、その中の関係者の労苦に関する調査研究並びに関係者の労苦に関し、出版物を作成し及び頒布する業務に係るものである。

この業務の実施に当たり、基金は、平成元年度から財団法人全国強制抑留者協会に、主として次の三つの観点から抑留体験者の手記の執筆あるいは聞き取り等の方法により、労苦の実態を明らかにすることをねらいとして調査研究を委託してきた。

- (1) 労役の実態
- (2) 抑留者の統制管理の実態
- (3) 抑留中の生活と極限状態における意識

しかし、平成4年度の委託に当たっては、体験者の労苦を数量化して把握しようと試み、従前の手記、聞き取り調査方法をとらず、アンケート調査方式をとることとした。

協会では、基金からの委託に基づき、全国の広範囲にわたる約3,000人の関係者に対して活発なアンケート調査活動を展開し、ほとんど全員から回答を得、その結果を集約・整理し、「強制抑留者に係る今次大戦における労苦に関する調査報告書」として基金に報告された。

このアンケート調査によって、多くの抑留者を酷寒凍土の荒野に不帰の客とさせたシベリアでの寒さと飢えと重労働を共通労苦とする苛酷な抑留生活の実態が数値で明らかにされることとなった。

本書は、体験者にして初めて明らかにされる具体的な労苦の記録であるので、戦争の残虐さ、残酷さ、悲惨さ、その上いかに無意味なものであるか、翻って、平和がいかに尊いものであり、大切なものであるかを教えてくれるこの上なく貴重なものである。したがって、彼らの労苦を徒労に終わらせないためにも、この労苦を子々孫々に語り継いでいくことが必要であり、そのためにも、この書は永く保存され周知されるべきものと思料する。

最後に、調査に当たられた協会関係者のご努力とアンケート回答者の皆様方のご協力に感謝するとともに、本書が平和祈念の書としてたくさんの人に読まれ、平和の一助となることを願うものである。

平成6年3月

平和祈念事業特別基金

理事長

勝 又 博 明

# シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦 IV

## 目 次

ま え が き

ま え が き

勝 又 博 明

### アンケート調査結果

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 梗概                       | 1   |
| I 調査対象総括                 | 3   |
| II 労役の実態                 | 32  |
| III 抑留者の管理の実態            | 38  |
| IV 抑留中の生活と極限状態における意識     | 68  |
| V その他                    | 76  |
| VI 戦後強制抑留者の労苦に係るアンケート調査票 | 82  |
| VII 付表                   | 100 |

(註) 複数回答の場合

人数は延べ人員数を、

%は回答者3,085名を基準として算出した。

## 梗概

アンケート形式で戦後強制抑留者の労苦に関する調査研究を実施した。

調査研究項目は、

- (1) 労役の実態（職種及びノルマ等）
- (2) 抑留者の統制管理の実態
- (3) 抑留中の生活と極限状態における意識

を主眼に行うこととした。

調査方法は次の方法によった。

- (1) 調査方法 調査員による留置法
- (2) 調査対象人数 3,000人
- (3) 抽出方法 有為抽出

実施は、全国から推薦された326人の調査員に調査を依頼し、調査員が任意に選んだ3,334名の抑留経験者の方にアンケート用紙を配り、設問に回答していただくという方法をとった。

設問は、あらゆる分野にわたり可能な限り詳細にと考えて作成したので、50項目以上に及ぶ膨大なものになった。

回答率は、3,334名のうち3,085名の方から回答をいただいたので、92.5%の高率であった。

回答の結果は、本文に明らかなように、シベリア抑留がいかに過酷なものであったかを如実に証明するものとなった。

シベリア抑留者は旧関東軍の軍人がそのほとんどで、現地召集の者が相当部分を占めており、年齢層はほとんどが大正生まれであるが、明治生まれの者も意外に多く、この人達にとってはより厳しいものであったろうと想像される。

ソ連と終戦までの間に戦火を交えた者がどの程度のパーセントを占めたか。この調査でその割合を確かめたところ、約7割の者は戦闘に参加していないことが証明された。

入ソは、ほとんどが昭和20年の終戦の年のうちであった。

### 〔労役の実態〕

作業の種類は、いろいろの業種に及んでいるが、伐採を筆頭に、建築、農作業、荷役作業、鉄道工事、道路工事、鉱山と続いている。

いずれも飢餓と寒さと労働について、抑留者は過酷なものと体感したことは予想どおりであるが、その過酷さが想像以上のものであったことを窺わせる結果を示している。

### 〔抑留者の管理の実態〕

最初に収容された収容所は、曲がりなりにも従来からあった建物が主で、収容所列島と後に言われたとおり、収容所は相当に存在していた。

しかし、健康診断については、名前は健康診断だが、器具による健康診断でなく、触診・視診の健康診断が多く、単に作業区分のための体位判定の健康診断であって、本来の健康診断とはいえない程度のものであったことを示している。

そのためもあってか、病気にかかった者が1～4年の抑留期間中に半数以上を占めるという驚異的な結果を示している。しかも病室に収容されるほどの病気がその半分をしめているのである。

怪我をした者も多く、治療器具や医薬品のないところで苦勞したことを想像させる。

衣、食、住については、いずれも80%以上の者が不十分であったと指摘している。

民主運動についても回答を求めたが、これを帰国の条件と考えさせる環境であったことを裏付ける回答が多かった。

### 〔抑留中の生活と極限状態における意識〕

労働の苦痛、飢え、極寒の凌ぎ方、死の意識についても回答を求めた。

### 〔その他〕

最後の、抑留体験を人生にどのように位置づけているかという設問は非常に関心のあることであったが、全くの無駄とはっきり明言する者と、忍耐力がついた貴重な体験と位置づけている者とがある。しかし、いずれもたいへんな回り道であったことを示す回答となっている。

以上概略を述べたが、本文で細かく検討していただきたい。

# I 調査対象総括

## 問1 調査対象者の生年月日

(単位：名)

| 年 号   |      | 人数    |
|-------|------|-------|
| 明 治   |      | 178   |
| 大 正   | 1 年  | 29    |
|       | 2 〃  | 80    |
|       | 3 〃  | 94    |
|       | 4 〃  | 106   |
|       | 5 〃  | 101   |
|       | 6 〃  | 140   |
|       | 7 〃  | 124   |
|       | 8 〃  | 170   |
|       | 9 〃  | 260   |
|       | 10 〃 | 291   |
|       | 11 〃 | 297   |
|       | 12 〃 | 363   |
|       | 13 〃 | 340   |
|       | 14 〃 | 371   |
|       | 15 〃 | 92    |
| 大正計   |      | 2,858 |
| 年 号   |      | 人数    |
| 昭 和   | 2 年  | 29    |
|       | 3 〃  | 11    |
|       | 4 〃  | 3     |
| 昭和計   |      | 43    |
| 未 記 入 |      | 6     |
| 合 計   |      | 3,085 |

抑留者の中に明治生まれが全体の5.8%に及び、終戦当時34才以上の方が3,085名中178名もいたということである。

大正14年生まれが最も多く12.0%次いで12年、13年、11年の順でそれぞれ11.8%、11.0%、9.6%の順となっている。

昭和生まれは4年が最年少で当時16才で志願の少年兵、開拓団の方たちと思われる。

問 2 強制連行前の職業

(単位：名)

|             |       |         |       |
|-------------|-------|---------|-------|
| 軍 人 (士 官)   | 133   | 教 員     |       |
| 軍 人 (下 士 官) | 591   | 自 営 業   |       |
| 軍 人 (兵)     | 2,107 | 義 勇 軍   |       |
| 軍 人 (候 補 生) | 169   | 会 社 員   |       |
| 軍 属         | 32    | 学 生     |       |
| 農 業         |       | 官 公 吏   |       |
| 団 体 職 員     |       | 満鉄・満業職員 |       |
| 開 拓 団       | 12    | そ の 他   | 41    |
|             |       | 計       | 3,085 |

軍人の他は軍属1.0%、開拓団0.4%、その他1.3%のみであった。

### 問3 強制連行前の居住（駐屯）地

（単位：名）

| 居住地 | 人 数   | 地 域 名<br>（記入者のみ）                                                                                          |
|-----|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 満 州 | 2,262 | 奉天、四平、新京、錦県、鞍山、東安、延吉、孫呉、黒河、撫順、図們、吉林、東寧、通化、掖河、琿春、琿琿、鶏寧、横道河子、五叉溝、音徳爾、公主嶺、牡丹江、綏芬河、八面通、佳木斬、東京城、チチハル、ハルピン、ハイラル |
| 朝 鮮 | 370   | 元山、平壤、羅南、咸鏡、定平、富坪、南陽、宣徳、古茂山、新義州、雲務嶺、三合里                                                                   |
| 北 支 | 36    | 泰安、綴頭石、開封                                                                                                 |
| 千 島 | 360   | 択捉島、占守島、色丹島、松輪島、得撫島、幌筵島                                                                                   |
| 樺 太 | 19    | 本斗、上敷香、気屯                                                                                                 |
| その他 | 14    |                                                                                                           |
| 未記入 | 24    |                                                                                                           |
| 計   | 3,085 |                                                                                                           |

強制連行前の居住（駐屯）地については、満州がほとんどで全体の73.3%、次いで朝鮮、千島となっている。

主力は関東軍であった。

#### 問 4 入隊前に生活していた所

(単位：名)

|     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| 内 地 | 2,482 | そ の 他 | 24    |
| 満 州 | 518   | 未 記 入 | 16    |
| 朝 鮮 | 45    | 計     | 3,085 |

入隊前に生活していた所は、内地が80.5%、満州在住で入隊した者は16.8%となっている。

#### 内地の都道府県別内訳

(単位：名)

| 府県  | 人数  | 府県  | 人数  | 府県  | 人数    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 北海道 | 28  | 石 川 | 54  | 岡 山 | 16    |
| 青 森 | 3   | 福 井 | 22  | 広 島 | 168   |
| 岩 手 | 221 | 山 梨 |     | 山 口 | 13    |
| 宮 城 | 5   | 長 野 | 5   | 徳 島 |       |
| 秋 田 |     | 岐 阜 | 41  | 香 川 | 1     |
| 山 形 | 1   | 静 岡 | 47  | 愛 媛 | 1     |
| 福 島 | 171 | 愛 知 | 39  | 高 知 |       |
| 茨 城 | 8   | 三 重 | 6   | 福 岡 | 37    |
| 栃 木 | 101 | 滋 賀 | 47  | 佐 賀 | 1     |
| 群 馬 | 7   | 京 都 | 50  | 長 崎 | 4     |
| 埼 玉 | 4   | 大 阪 | 89  | 熊 本 | 73    |
| 千 葉 | 236 | 兵 庫 | 146 | 大 分 | 2     |
| 東 京 | 137 | 奈 良 |     | 宮 崎 | 3     |
| 神奈川 | 44  | 和歌山 | 67  | 鹿児島 |       |
| 新 潟 | 528 | 鳥 取 | 34  | 沖 縄 | 14    |
| 富 山 | 6   | 島 根 | 2   | 計   | 2,482 |

問5 入隊前に就いていた職業等

(単位：名)

| 軍 属   | 官 公 吏 | 農 業   | 教 員     |
|-------|-------|-------|---------|
| 172   | 302   | 889   | 52      |
| 会 社 員 | 開 拓 団 | 義 勇 軍 | 団 体 職 員 |
| 1,003 | 97    | 50    | 48      |
| 自 営 業 | 学 生   | そ の 他 | 計       |
| 302   | 63    | 107   | 3,085   |

入隊前の職業は会社員、農業が最も多く夫々32.5%、28.8%となっており、  
官公吏、自営業が同率の9.8%となっている。

問 6 強制連行前の家族構成

(単位：名)

| 区 分       | 戸 主 | そ の 他 | 計     |
|-----------|-----|-------|-------|
| 家 族 と 同 居 | 532 | 534   | 1,066 |

| 区 分 | 既 婚 | 未 婚   | 計     |
|-----|-----|-------|-------|
| 単 身 | 324 | 1,676 | 2,000 |

|       |
|-------|
| 未 記 入 |
| 19    |

|       |
|-------|
| 合 計   |
| 3,085 |

問 7 あなたは強制連行までの間にソ連との戦闘に参加しましたか

(単位：名)

| 参 加   | 不 参 加 | 計      |
|-------|-------|--------|
| 977   | 2,108 | 3,085  |
| 31.7% | 68.3% | 100.0% |

ソ連との戦闘に参加していない者が多い。

問 8 武装解除地

(単位：名)

| 解除地   | 人 数   | 地 域 名 (記入者のみ)                                                                                                          |
|-------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 満 州   | 2,261 | 奉天、図們、新京、孫呉、吉林、敦化、海林、延吉、錦県、黒河、安東、方正、北安、琿春、琿琿、鞍山、遼陽、石頭、金蒼、チチハル、ハルビン、ハイラル、牡丹江、東京城、公主嶺、四平街、間島、博克図、興安嶺、鏡泊湖、佳木斯、音徳爾、横道河子、通化 |
| 朝 鮮   | 341   | 元山、平壤、羅南、興南、咸興、会寧、定平、義州、明川、羅津、富寧、連浦、基州、ホーリー (注)、三合里、古茂山、新安州、新義州、咸鏡南道 (注)                                               |
| 北 支   | 8     |                                                                                                                        |
| 千 島   | 344   | 得撫島、色丹島、松輪島、択捉島、幌筵島、占守島、中千島 (注)                                                                                        |
| 樺 太   | 26    | 豊原、大泊                                                                                                                  |
| そ の 他 | 105   |                                                                                                                        |
| 計     | 3,085 |                                                                                                                        |

(注) 地域名は不明確であるが、確認できないので、回答者の回答どおり記載した。

問9 中間集結地（大隊編成地）

（単位：名）

|                  |       |       |       |     |       |       |
|------------------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 東<br>部<br>満<br>州 | 拉 古   | 海 林   | 東 京 城 | 蘭 崗 | 金 蒼   | 延 吉   |
|                  | 61    | 156   | 38    | 16  | 36    | 140   |
|                  | 佳 木 斯 | 牡 丹 江 | 掖 河   | 敦 化 | そ の 他 | 計     |
|                  | 48    | 357   | 41    | 95  | 110   | 1,098 |

|                  |       |      |       |      |     |      |
|------------------|-------|------|-------|------|-----|------|
| 北<br>部<br>満<br>州 | 孫 呉   | 北 安  | 綏 化   | ハルピン | 嫩 江 | チチハル |
|                  | 98    | 25   | 4     | 59   | 17  | 133  |
|                  | 博 克 図 | ハイラル | そ の 他 | —    | —   | 計    |
|                  | 14    | 34   | 52    | —    | —   | 436  |

|                                 |     |     |       |       |     |     |
|---------------------------------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 中<br>部<br>・<br>南<br>部<br>満<br>州 | 吉 林 | 新 京 | 公 主 嶺 | 四 平   | 奉 天 | 鞍 山 |
|                                 | 57  | 122 | 72    | 102   | 277 | 28  |
|                                 | 海 城 | 錦 県 | 承 徳   | そ の 他 | —   | 計   |
|                                 | 21  | 27  | 18    | 26    | —   | 750 |